



すべては
みんなの
笑顔のために

〒384-0006
小諸市与良町6-5-5
Tel.0267-31-0251
Fax.0267-31-0140



バックナンバーはこちらから



東信教育事務所

co-create collaborate connect

令和7年
(2025年)

6/26 Vol.2

「学校改革の種をまく」



授業から学ぶ

学びに向かう力を
引き出す教師 … 1

研修の窓

夢や希望がいっぱいの初任者
明日からの一歩を
どう支えますか? … 2

研修の窓

校内研究=研究授業に
なっていませんか? … 3

考える部屋

単元内自由進度学習
ってなあに? … 4

考える部屋

自分の大切さとともに他の人の
大切さを認める
学校・地域・職場での

人権教育 … 5

お知らせ

スポーツ用具を
無料貸し出しします… 6

年6回発行する事務所だよりは、先生方にとって役に立つ情報をお伝えするのもです。回覧や掲示など、ぜひみなさんの目に留まるように工夫していただき、ご活用ください

学びに向かう力を引き出す教師

授業から学ぶ

5/13 初任研
授業力向上研修 I

標記研修会を4つの学校で行いました。今回は、A中学校1学年、K先生の理科の授業を紹介します。

K先生は、生徒が友とかかわりながら主体的に学習に取り組む姿を願い、「生徒の視点」から次のように授業を工夫しました。

【授業の概要】被子植物の特徴を捉える場面で、二つの植物を観察することを通して、同じ被子植物でも、葉脈や根のつくり異なる特徴があることを理解する。

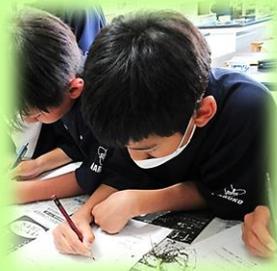
工夫① 子供が学びやすい教材を準備

生徒が興味をもって、じっくりと観察できるように、生徒にとって身近な植物の苗をできるだけ多く用意しよう。

K先生



友達に伝えるために、じっくりと見て、丁寧にスケッチしよう。



工夫② 子供が目的や必要感をもてる授業展開

生徒が目的をもって観察できるように、観察する植物を班の中で分担しよう。生徒が自分達の気付きから学習を深められるように、観察したことを班で報告し合った後、もう一方の植物も観察できるようにしよう。

K先生



ピーマンの葉脈は枝分かれしていたよ

トウモロコシと違うのかな？ 比べてみたいな

本当だ、ピーマンは葉脈が枝分かれしている。同じ被子植物でもつくりの違いがあるんだ。



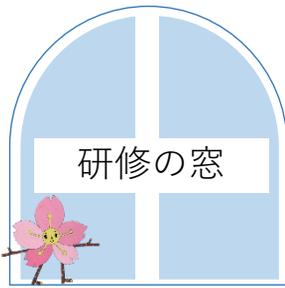
K先生が**生徒の視点から授業を構想すること**から生まれた工夫

→生徒が理科の**見方・考え方**（比較したり、関係付けたりする）を働かせる

K先生は、日頃から生徒に積極的に話しかけたり、つぶやきに耳を傾けたりして、生徒の気持ちに寄り添うことに努めています。そのようなK先生の姿が、生徒が安心して取り組むことにつながっているのかもしれない。

公開した4校の授業者と、それを参観した初任の先生方が多くのことを学ぶ機会となりました。ぜひ各校のメンターチーム等で話題にしてください。





夢や希望 がいっぱいの初任者 明日からの一歩 をどう支えますか？

4/15に行われた「初任研 スタート研修」に初任者が集まり、コンプライアンスや授業づくり学級づくりの基礎・基本、教師のあり方について学び、明日からの一歩を共に考えました。

【研修の振り返りから】

周りの先生方のやっている実践がとても勉強になった。

わからないことや不安なことが多いのは自分だけではない。前向きに取り組んでいきたい。



同期と話したことで、自分の疑問を解消することができた。これからも助け合って頑張りたい。

経験は違えど、同じ年度採用の仲間たちと切磋琢磨して、資質向上に努めたい。

不安はあるけど、自分の学校の先生方にアドバイスを聞きながら、自分を高めたい。

「明日からの一歩」を支えたのは何でしたか？
～学校で初任者を支えるには？～

- 声をかける（こんなことはおせっかいかなと思うことも）
- 初任者が相談しやすい笑顔
- 保護者対応など複数で
- 気になる子供については一緒に考える
- 授業を見て学ぶ環境を提供する
- 学級経営、授業のポイントをわかりやすく伝える
- 校務分掌を手伝う
- 心配な姿があれば教頭先生に相談

5つの「垣根」を超えて

教科
教科を超えても

学年
異学年でも

学級
担当学級以外でも

職
職や立場を超えて

個人
自分の考えにとらわれず

初任者を支えながら共に学ぶ

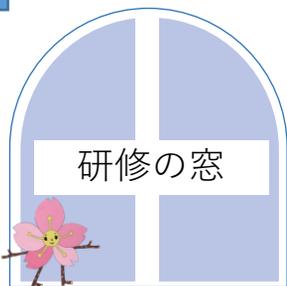
「教員は学校で育つ」

中央教育審議会 平成27年12月21日
「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について
～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」



初任者研修は、メンター制です。多様な経験年数、立場の先生方が初任者を育てる仕組みです。そのことで互いに学び合う機会にもなり、学校全体の向上にもつながります。どんどん声をかけ、学校職員みんなで初任者を育て、支えていきましょう。





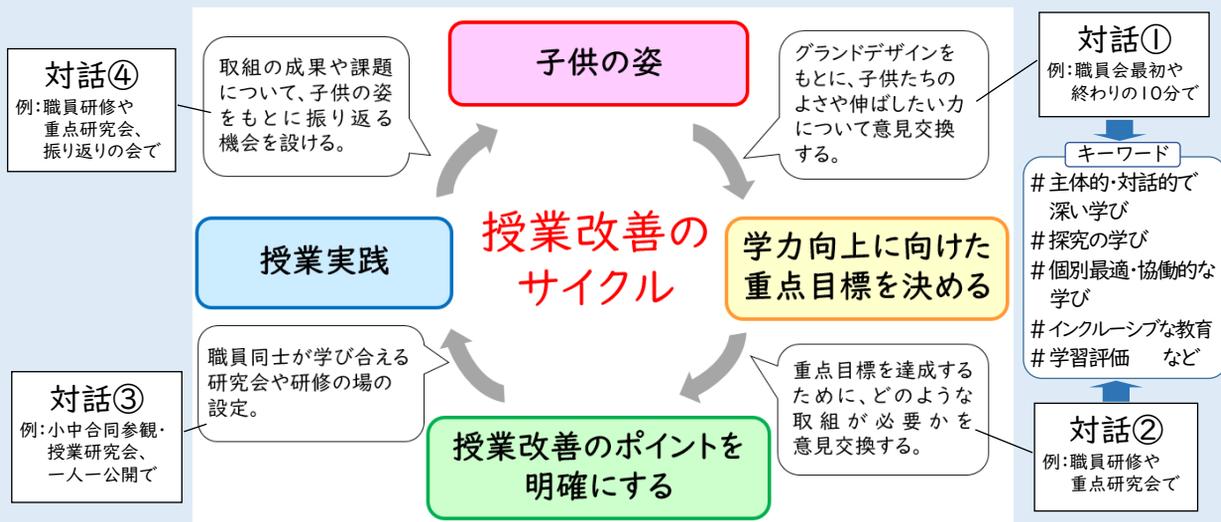
「校内研究＝公開授業」になっていませんか？

「全職員が関わる校内研究にするのが難しい。」と多くの研究主任が悩んでいます。授業が良くなればみんなの負担が減ります。全職員で「みんなのための」校内研究にしてみませんか？



ある学校の先生から「校内研究を進めることは、授業のようですね」という声を聞きました。目指す子供の姿に向けて先生方が問いをもち、実践し、振り返る。このサイクルを回すことがポイントになりそうですね。

公開授業のためだけの校内研究は、みんなの負担です。学校の目指す子供の姿に向けてみんなで一歩ずつ進んでいく！そのためのカギになるのが、職員同士の「対話」を軸とした授業改善のサイクルです。



対話①②では「#～」のような各校で取り組むキーワードについて意見を出し合い、授業改善の具体的なポイントの共通理解を図りましょう。対話③④では、授業での子供の姿を学校教育目標に照らして語り合ったり、各自の実践を振り返ったりしましょう。

今年度から「探究の学び」に力を入れようとしているB小学校

対話①「探究」のイメージを共有する

研究主任研修会から対話②を考える

4月、職員会議で10分時間をもらい、目指す子供の姿をもとに職員で意見交換し、「探究の学び」に力を入れることにしました。「探究」についてイメージを出し合い、共通認識がもてたので、次は具体的な取組について考えることにしました。



研究主任 C先生

研究主任研修会で「探究には4つのレベルがある」と聞き、新たな発見でした！普段の授業でも探究の学びができそうです。レベル2、3の授業をどう実践するか、次の重点研究会で先生方と一緒に考えます。



・「探究の学び」当日資料
・令和7年度教育課程・学習指導の基本「青本」

職員会や学年会で短時間生み出す。チャットやアンケートフォームを活用して…先生方の学校はいつ頃、どんな形で「対話」の場を生み出せるか、校長先生や教頭先生とも相談してみてください。



考える
部屋

単元内自由進度学習ってなあに？ ～愛知県緒川小学校の取組から～



「単元内自由進度学習」という言葉を耳にすることが多くなったと思いませんか。愛知県緒川小学校はこの実践を40年以上前から続けています。そこに勤務したことがあるA先生に、単元内自由進度学習についての疑問を聞いてみましょう。

Q

緒川小学校の子供たちの印象は？
先生方の様子はどんな感じですか？

A

子供中心の学校

子供たちは元気で明るくのびのびと生活している印象が強いです。特に行事や委員会活動は、計画や準備に子供たちが積極的にかかわり、自分たちの願いが実現できるように配慮されています。先生同士でコミュニケーションを取り、子供に寄り添うことを大切にしようという意識が共有されている印象が強いです。

Q

緒川小学校ではなぜ単元内自由進度学習に取り組んでいるのですか？

A

自ら学ぶ子を願って

生きる力として、子供が自己選択・自己決定・自己調整を行う場面を大切に、すべての教育活動でそれを意識しています。特に、その機会が多い「単元内自由進度学習」では、自分のペースで進めることで、主体性・自律性が育つことや、達成感や自己肯定感を高めることを期待して取り組んでいます。

Q

全部の授業で単元内自由進度学習に取り組んでいるのですか？

A

カリキュラムの一つ

すべての授業で行っているわけではなく、各学期に1回程度、年間総時数の1割程度の実施で、カリキュラムの中の一つです。しっかり通常の授業の充実に焦点を当てています。他のカリキュラムには、計算や漢字などの基礎基本の定着を目指すドリル学習や、九九などの計算領域を集中的に学習する時間や、子供が自身の興味関心に基づき年間通して追究を行う時間などもあります。

Q

どんな単元が単元内自由進度学習に向いていますか？

A

意識しているポイントは3つ

実践・開発に際し意識していることは3つあります。

- ①学習内容がはっきりしていて、作業的な活動が比較的多い単元
- ②学習の成果を自己評価しやすい単元
- ③学習を進める中で、友達との意見交換や合意形成をあまり必要としない単元

単元内自由進度学習は「自ら学ぶ子」の育成を願う学校の、実現に向けた一つの手法なのですね。目的を明確にし、学校全体の学習活動の位置付けを考えることが大切です。先生方の学校の願う子供の姿は、どんな姿でしょうか。学校で願う子供像を先生たち同士で共有し、手法にとらわれず授業改善を進めていきましょう。

人権

自分の大切さとともに他の人の大切さを認める 学校・地域・職場での人権教育

誰のための、何のための人権教育？

現在、学校や職場、地域では同和問題やインターネットによる人権侵害等の様々な人権問題が生じています。この問題はどこか遠くの他人事の問題ではなく、誰もが当事者になり得る自分事の問題です。だからこそ、自分を含めたすべての人が、安心して自分らしく生活できるようにするために、学校や職場、地域で人権教育に取り組む必要があります。

改めて、学校・地域・職場において、誰のための、何のための人権教育なのか考えてみませんか。

そこで、今回は企業ではどのような人権教育（研修）が行われているのか紹介します。

上田市企業人権教育新入社員研修会

【研修会の主な内容】

- 「人権ってなあに？」と尋ねられたら、どのように答えるか
- 正しく知るために意識することが大切
- 自分の人権感覚を見つめてみよう
「アンコンシャス・バイアス」
(無意識の偏見・思い込み)
- 個別の人権課題（右スライド参照）
主に、同和問題、外国人、障がい者、性の多様性

皆さんも一緒に考えてみましょう

長野県での個別の人権課題(11課題)

「長野県人権政策推進基本方針」(H22策定)

- | | |
|--------|--|
| 1 同和問題 | 7 HIV感染者・ハンセン病患者等 |
| 2 外国人 | 8 犯罪被害者等 |
| 3 女性 | 9 中国帰国者等 |
| 4 子ども | 10 様々な人権課題 |
| 5 高齢者 | (アイヌの人々、刑を終えて出所した人、性的指向及び性同一性障害、ホームレス・北朝鮮当局による人権侵害等) |
| 6 障がい者 | 11 インターネットによる人権侵害 |

※長野県の考える重点課題 「同和問題」 「外国人」

【参加者の感想】

○「寝た子を起こすな」ではなく、「正しく起こす」ということの大切さを知りました。無知がゆえに他人を傷つけてしまうことがあり、無知以上に怖いものはないと思いました。そのためにも、正しく知ることから始めたいと思いました。

○小学生の頃から「人権」という言葉は耳にしておりましたが、フワッとした認識でしかなかったので、今回、無意識の偏見や具体的な差別の事例、適切な対応について知ることができました。普段から人権に対する感性、感覚のようなものを磨いて、無自覚に誰かを傷つけないようにしていきたいと思いました。

○無意識のうちに偏見や思い込みをもって相手を見てしまっているのではないかと自分を振り返るきっかけになりました。相手のことを知ろうとする気持ちを大切にしながら、その人がその人らしく幸せに暮らせるようにみんなでご考えていきたいと思いました。



皆さんは、最近、人権についてどんなことを考えましたか？

身近な出来事や新聞記事等、皆さんが感じたり考えたりしたことを家族や友達、職場で話題にすることも、人権感覚を豊かにする大切な一歩です。人権教育は学校だけで終結するのではなく、社会人になっても続きます。義務教育段階だからこそ取り組める内容とは何か、学年会や職員会で話題にしてみるのはいかがでしょうか。



『スポーツ用具』を無料で貸し出します！

◆モルック

< 5セット >

- ・屋外で行う人気のニュースポーツ
- ・チームで作戦をたて狙って…偶然で…50点をめざす！



人気急増中！

◆屋内用モルック

新規購入！

(トスティック) < 4セット >

- ・屋内で使用できるモルック
- ・ゴム製のカバーがついているため、床に傷がつきにくい！



◆ボッチャ

< 10セット >

- ・屋内で行う人気のニュースポーツ
- ・教室でも楽しめて、ルールが簡単！
- ・年齢・性別に関係なく誰でもできる！

各種レクやクラブ活動に！

4チームで対戦できるスクエアボッチャもあります！



◆キックルパッド < 16個 > (ゴール型)

- ・屋内でのスライドサッカー
- ・バウンドしないためボールの扱いが簡単！



体育の授業に！

◆テニピン < 39個 > (ネット型)

スポンジボール24個

- ・屋内での簡易テニス
- ・手打ち感覚で続けられるネット型ゲーム



借用までの流れ

- 1 まずは、電話で確認…
 - ① 借用物品 (必要個数)
 - ② 希望借用期間
- 2 ホームページから、借用申請書をダウンロード
- 3 入力してメール送信、もしくは記入して事務所へ持参

昨年度、小中学校66校に貸し出しました

東信教育事務所HPに「スポーツ用具一覧」を掲載してあります。

検索 : 東信教育事務所
→ イベント
→ スポーツ用具の貸出について



(問合せ先) 東信教育事務所 学びの共創課 担当：由井

☎ 0267-31-0252

✉ toshinkyō-shogai@pref.nagano.lg.jp



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ